

(様式3)

三重県民の森事業計画書の要旨

申請者名	特定非営利活動法人三重県自然環境保全センター
県民の平等な利用の確保に関する事項	<p>行政の代行という立場を自覚し、設置目的を踏まえ「人も自然も笑顔になれる公園」をキーワードに掲げ、管理運営に取り組めます。</p> <p>利用者だけでなく、働くスタッフも含め県民の森に関わるすべての“人が笑顔”になることを目指します。そのためには、誰もが安全・安心・快適に利用出来ること、平等で公平な管理運営、地域の方々との協働、高いモチベーションが保てる労働環境などが挙げられます。また、“自然が笑顔になる”ということは、生物多様性が豊かになることを意味しています。</p>
三重県民の森の適切な維持管理に関する事項	<p>誰もが安全・安心・快適に利用できる空間であることを最優先とし、管理水準を満たした良好な状態を維持します。また、自然植生については、「三重県民の森管理の基本方針」に従い、各エリアにおいて長期的視点に基づき、生物多様性の確保に考慮した管理を行います。そこで、PDCA マネジメントサイクルに基づいた運営により、常によりよい環境を提供し、利用促進につながるよう取り組みます。</p>
三重県民の森の効用の最大発揮と県民サービスの向上に関する事項	<p>効用の発揮やサービス向上には、利用者数の増大と一定水準以上の利用者満足度が重要になってくることから、積極的にイベントの開催、情報発信、利用者ニーズの把握などに取り組みます。</p> <p>自然体験型イベントでは、季節に応じた自然観察会、自然に触れられるクラフト、公園管理と一体となったイベントなどを実施します。</p> <p>自然学習展示館では、展示を充実させ視覚的に分かりやすく学ぶ機会を提供します。また、はく製や標本などの展示を通してホンモノに触れる機会を提供します。</p> <p>園内の森林では、里山づくりの場や森林ウォーキングを充実させるとともに、森林環境教育のフィールドとしてプログラムを用意します。</p> <p>また、各種団体やモリメイトをはじめとしたボランティアとの協働により、幅広い視点により公園の可能性を広げます。常に新しい企画に取り組み、リピーターとなった方でも、いつでも新鮮な驚きがあるような公園を目指します。</p>

管理に係る経費の縮減に関する事項		<p>管理水準をクリアするためであれば、コストの圧縮は容易です。しかし、指定管理者は、限られた予算の中で施設の運営に当たり最大限の効果を発揮することが求められていると考えています。利用者の安全確保を含め、サービスの充実が施設運営の最重要課題と捉え取り組みます。そこで、経費を効率的に使い、可能な限りサービスの向上に努めます。</p> <p>なお、業務再委託は、極力減らし出来る限り直営にて管理します。</p>				
管理に必要な人員及び財政的基礎に関する事項		<p>責任者1名（所長）、副責任者2名（イベント・広報担当、植物管理担当）を配置するほか、必要に応じて人員を配置し、ムリ・ムダのない最適なシフト体制をとります。</p> <p>財政的基礎は、NPO法人を対象とした銀行の融資を活用し、安定的な運営を行います。</p>				
収支計画書(千円)	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	収入合計	24,320	24,858	24,958	25,058	
	内訳	指定管理料	23,670	24,108	24,108	24,108
		自主事業収入	650	750	850	950
		その他の収入				
	支出合計	24,320	24,858	24,958	25,058	
	年度	32年度				
	収入合計	25,158				
	内訳	指定管理料	24,108			
		自主事業収入	1,050			
その他の収入						
支出合計	25,158					

※ A4版2枚以内としてください。